

取組を進める県内事業所

優良企業
取組事例

有限会社 COCO-LO

28年度
群馬県知事賞

医療・福祉

2005年に訪問看護ステーションを開始。以降はデイサービスやケアプラン、フィットネスジムやネイルルームに至るまで、急速に事業を拡大させてきた。また同時に働きやすい職場づくりを推進。現在では多数の表彰を受ける先進的な企業でもある。

独自の
取組

- 出産・育児・介護に関する各種休暇・休業制度
- タブレットやスマートフォンを活用した労働時間の削減
- 従業員のキャリアアップ支援やメンタルヘルス対策・自己啓発の導入

「お互い様精神」が最大の特徴 充実の職場環境で従業員を応援！

いまでは募集をせずとも求職者から応募があるという同社も、設立当初は従業員が全く集まらなかったそう。そこで「育児や家事を抱えていて、働きたくても働けない人は山ほどいる」という従業員のアドバイスから、仕事と家庭生活を両立できる組織づくりを決意。数え切れないほどの取組で、従業員のワーク・ライフ・バランスを支えてきた。

「当時は施設の管理者もしていましたが、周囲の従業員からパパ育休の取得を強く勧められました」と2週間のパパ育休を取得した安城さんが語るとおり、従業員間で融通し合う「お互い様精神」が同社の特色。「育児や介護を抱える従業員の休暇が増

えたことで、普通の従業員も進んで休むようになってきました」と広報担当の小山さんは休みやすい雰囲気について語る。

ワーク・ライフ・バランスの実現には業務の効率化も不可欠だ。タブレットとスマートフォンを駆使した時間や場所にとらわれない情報共有システムを構築。直行直帰を可能にする等、労働時間の削減に成功した。

費用負担といった資格の取得支援もさることながら、近年ではストレスチェックによるメンタルヘルス対策や、ストレングスファインダーという自己啓発制度も導入。今後も従業員とともに創意工夫を続け、よりよい職場体制を目指す。

はたらく人の声



第2子が生まれたときにパパ育休制度を利用しました。小学生だった上の子が夏休みで家にいたので、上の子の面倒も見ると、妻の育児のフォローが出来てとても助かったと思っています。当時は自分の意思以上に、周囲の従業員から取得を勧められたので、気軽に休暇を取ることが出来て、本当によかったです。

管理者・理学療法士 安城大輔さん

利用した
制度

- 子の看護休暇
- パパ産休制度
- パパ育休制度

取組推進員の思い

2年に1回、従業員全体的話合いを経て改正される就業規則や各種制度で従業員のワーク・ライフ・バランスを後押ししています。今後は従業員が休むことで、ほかの従業員に負担がかからないようさらなる改善をし、いま以上に育児や介護に参加しながら仕事を続けられる環境づくりを目指していきます。



広報担当 小山美生さん

企業
情報

【代表者】 雅楽川陽子
【住所】 桐生市相生町二丁目 261-3
【TEL】 0277-55-5422 【FAX】 0277-55-5224
【URL】 <http://coco-lo.net/>
【従業員数】 男性 12名 女性 71名